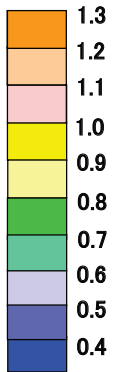
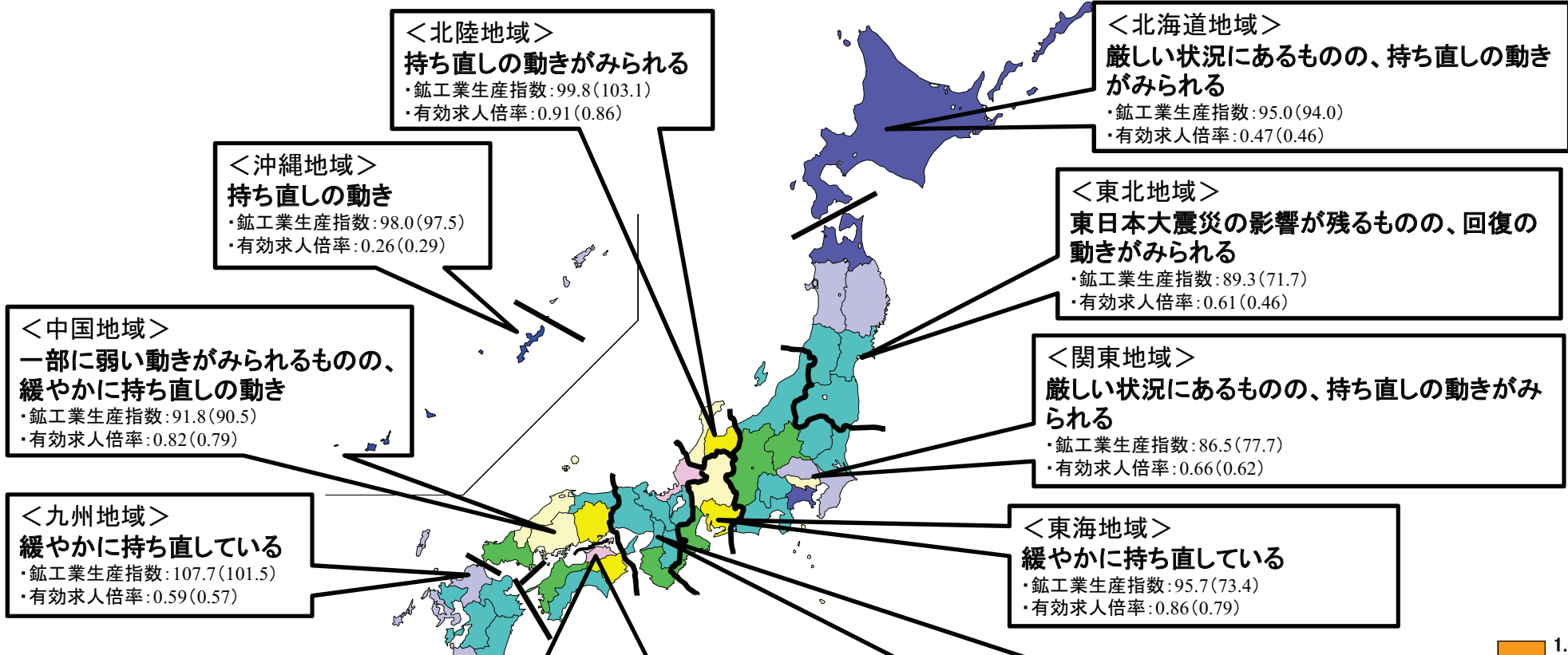


**地域の景況は、持ち直しの動きがみられる。**  
 ~為替動向、電力供給制約、海外景気動向など、先行きには景気が下振れするリスクがある。~



<全国>  
 ・鉱工業生産指数:93.6(84.0)  
 ・有効求人倍率:0.66(0.61)

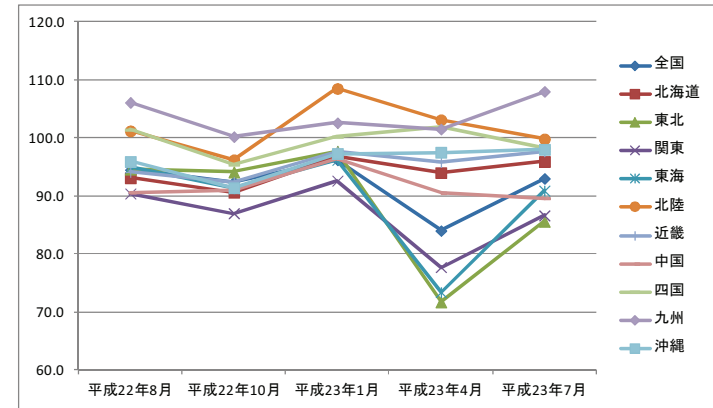
※ 鉱工業生産指数8月速報(4月確報) (平成17年=100:季節調整値)(全国は8月確報、北陸、沖縄は7月速報)  
 資料 経済産業省「鉱工業指数」により作成。  
 ※ 月間有効求人倍率 8月(4月)(季節調整値)  
 資料 厚生労働省「職業安定業務統計」により作成。

有効求人倍率(平成23年8月)

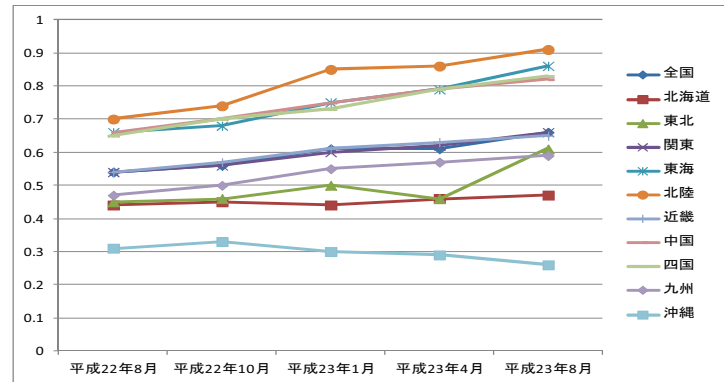
	平成22年10月	平成22年12月	平成23年3月	平成23年6月	平成23年10月
	過去1年間の全体景況判断の推移				全体景況判断
全国	↘ これまで一部持ち直しの動きがあったが、依然厳しい。今後の悪化に懸念。	↘ 弱含みに推移している。引き続き今後の悪化に懸念。	↗ 持ち直しの動きがみられつつある	↘ 東日本大震災の影響により、弱含んでいる	↗ 持ち直しの動きがみられる
北海道	→ 持ち直しの動きもみられるが、厳しさが残る	↘ 持ち直しの動きが一服し、厳しさがみられる	↗ 厳しさが続くものの、持ち直しの動きがみられる	↘ 東日本大震災の影響から厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの兆しがみられる	↗ 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる
東北	↘ 一部持ち直しの動きがあったが、依然厳しい	↘ 横ばい傾向にある	↗ 厳しさが残るものの、持ち直しの動きがみられる	↘ 東日本大震災により大幅に悪化している	↗ 東日本大震災の影響が残るものの、回復の動きがみられる
関東	↘ 一部持ち直しの動きがあったが、依然厳しい	↘ 横ばい傾向にある	↗ 一部に持ち直しの動きがみられる	↘ 東日本大震災の影響等により、一部に持ち直しの兆しもあるものの厳しい状況	↗ 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる
中部(東海)	→ 緩やかに持ち直してきたが、厳しさが残る	↘ 減速している	↗ 横ばいとなっている	↘ 東日本大震災の影響により悪化していたものの、足元、生産面に持ち直しの兆しがみられる	↗ 緩やかに持ち直している
中部(北陸)	↗ 緩やかに持ち直している。今後の悪化に懸念。	↘ 持ち直しの動きが弱まっている	↗ 持ち直しの動きがみられる	↘ 東日本大震災の影響により一部で弱含みとなっている	↗ 持ち直しの動きがみられる
近畿	→ 緩やかに持ち直している。今後の悪化に懸念。	↘ 横ばい傾向にある	↗ 持ち直しの動きがみられる	↘ 東日本大震災の影響により弱い動きがみられる	↗ 一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動き
中国	↘ 持ち直しの動きが緩やかになっている。今後の悪化に懸念。	↘ やや弱含み	↗ 一部に持ち直しの動き	↘ 東日本大震災の影響により弱含み	↗ 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しの動き
四国	→ 一部に持ち直しの動き。今後の悪化に懸念。	↘ やや弱含み	↗ おおむね横ばい	↘ おおむね横ばいながら東日本大震災の影響もあり一部で弱い動き	↗ 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している
九州	→ 緩やかに持ち直している。今後の悪化に懸念。	↘ 持ち直しの動きが弱まっている	↗ 持ち直しの動き	↘ 東日本大震災の影響により、弱含んでいる	↗ 緩やかに持ち直している
沖縄	↗ 一部に持ち直しの動きが見られるものの引き続き低迷	→ 一部に持ち直しの動きが見られるものの引き続き低迷	→ 一部に持ち直しの動きがみられるものの引き続き低迷	↘ 東日本大震災の影響により弱含みに推移	↗ 持ち直しの動き

※前回調査時の景気判断と比較して、上方に変更の場合は「↗」、判断に変更なければ、「→」、下方に変更した場合は「↘」。

## ○ IIP(生産)の動向



## ○ 有効求人倍率の推移



## ○ 大型小売店販売額前年同月比(全店ベース)の推移

